山梨県神社庁報



5月3日 憲法記念日 5月4日 みどりの日 5月5日 こどもの日

第173号(平成28年4月20日)



南アルプス市上今諏訪 諏訪神社 御 柱 祭

等とを祈ること を当と世界の共存共 を当と世界の共存共 を当と世界の共存共 を当と世界の共存共

世のため人のために

きまことを以て祭祀とに感謝し、明き清

にいそしむこと

ひ、太平を開くの基である。 神慮を畏み祖訓をつぎ、 神慮を畏み祖訓をつぎ、 いよいよ道の精華を発揮し、 人類の福祉を増進するは、 使命を達成する所以である。 ここにこの綱領をかかげ て向うところを明らかにし、 て同うところを明らかにし、 で同うところを明らかにし、 で同うところを明らかにし、 で同うところを明らかにし、

あって、崇高なる精神を培

神道は天地悠久の大道で

敬神生活の綱領

て参り度いと思います。き精一杯、最後のご奉仕をし達各位のご指導とご協力を戴

長にご推挙され、老害となら時評議員会に於いて、再度会

この度山梨県神社総代会臨

ないかとも思いましたが、先

式にご台臨なされ、、今なお年にあたり、政府主催の追悼陛下には、東日本大震災満五三月十一日、天皇、皇后両

役 就 任 挨 拶



根 津 泰 昇

山梨県神社庁

りますので宜しくお願い申し 神社庁をお支え頂く神職、総なりました。前期同様山梨県 県神社庁長の重責を担う事とも再選され、今期三年間山梨 重責を全うして参る所存であ 時協議委員会に於いて図らず 上げます。 代、関係者各位の協力を賜り 一月十六日に開催された臨

連合国総司令部は日本改造の 十年の佳節を迎えます。戦後本年は山梨県神社庁設立七

> ります。 がこの時代を生きる私達にあていかなければいけない責任 思えば、この七十年の尊さを を繋ぎ斯界を護り続けてきま 達は、人から人へ、心から心 神社と国家の分離を命じまし した。連綿と続けてきた心を た。それから七十年の間先人 大切に思い、次世代へと繋げ 貫として、神道指令を発し、

八月六日・七日の土、 段の七十周年事業とし 日

> れひろばにて、(仮称)『神社曜日に甲府駅北口よっちゃば 壮年を始め青少年、子供達を 様を認識して頂く為のイベン を知ろう』と題し、神社、 く広場と縁日を楽しんでいた 集へ、神社に親しんでいただ ト広場を設け、次世代を担う 神

宮大麻啓発活動、国旗掲揚運験、人生儀礼の紹介等々や神演奏会、神楽奉納、御神輿体 動の展開をも予定しています 行事を開催致します。又雅楽 会主催の緑陰子供会も合わせ お祭り広場では、教化委員だく行事を開催致します。 休みの思い出創りに役立てて に、多くの露店を出店し、夏 て開き、火きり神事等例年の 時を大いに楽しんで頂く為縁日広場では、暑い真夏の

間際の社が数多く見受けられ

ます。難しい問題ではありま

り申し上 であり、益々のご健勝をお祈 思いを寄せるは誠に畏き極み なされました。永々被災者に 憲法改正、安倍内閣は命運 げる次第でありま

山梨県神社総代会

中

込

秋

とを一同と共に願い、御霊へ も早く安らかな日々の戻るこに思いを寄せ、被災地に一日 みない努力を続けている人々不自由な生活のなかで、たゆ なされ、被災者をもお見舞い との「おことば」をお述べに の追悼の言葉といたします。 なりました。両陛下には三月 十六日より、被災地をご訪問 復興の状況をもご視察 連安保理主要国は集団で北朝連安保理主要国は集団で北朝師に対応しており、北朝鮮の大好国でが参加して規制の強化を実行している事を観ても、平和は一国だけでは守れな平和は一国だけでは守れない。戦争を放棄しておるスイン。戦争を放棄しておるスイン。 り、激しく変りゆく世界。国をかけて取り組もうとしてお は強固な設備を張り巡らせ自 スでさえ軍隊をもち、

> が守るべきは当然でありま民の安全と国土防衛は日本人 か。は勝利しようではありません ておるそうです。我が国も国国防衛に多額の予算づけをし す。来る参議院議員の選挙に

足による生産性の低下、ひいになっており、若年労働者不 氏子さん減少による運営に支 対する若者の関心の希薄化、 ないように思います。 り、市町村の再編では解決し治体の機能も果し得なくな ては国力は落ち、 特に近年、寺離れ、神社に 人口減少、大きな社会問題 更に地方自

のでご家族お揃いでご参加下 頂く縁日広場を開催致します

が困難になっている社、滅亡急激に進み、神社を支えるの近年少子高齢化、過疎化が り強く推進して参ります。せん。組織の充実を図り、粘が、結果が伴ってきておりま し地道に活動を続けています 委員等又支部が本庁とも連携 動神社対策委員会について、 いますようお願い申し上げます。 される方は是非共ご出席下さ 開催致します。周年表彰に浴 関係者大会と共に記念式典を て、三年前に立ち上げた不活 七十周年事業の一環とし 第二弾は、十月に慰霊祭と げ、

梨県神社庁奉賛会を立ち上 員会で可決された(仮称)山 けでは賄えない状況でありま ざいませんが一歩一歩、神職、とても解決出来る問題ではごとても解決出来る問題ではご たくお願い申し上げ就任の挨関係者各位には御理解を賜り 総代と共に再任された期間を されます。本庁からの援助だ り一歩でも前進出来るようなすが本庁、役所とも連携を図 歩んで行きたいと存じます。 施策を展開致したく存じます。 それには多額の費用も予想 財源基盤を整えたいと存

は推進運動の一助として新たに「ノボリ旗」を、国旗は昨年同様に配布します。更に各年同様に配布します。更に各文部に国旗掲揚推進モデル地文。本年は推進活動を始めてす。本年は推進運動の一助として新たは推進運動の一助として新た 成果が波及効果と共に期待さ ます。本年はしっかり取り組障をきたすお社は増えて参り のご協力をお願いします。 れるでしょう。更に総代各位 んで参り度いです。 国旗揭揚推進委員会、

″老の焦り″と思いご容赦

-2-

i



先の臨時協議委員会に於

副庁長 小佐野 正 史

す。神職・総代・神社関係者 らない責務を痛感し、心の引 を全うして参る所存でありま の皆様のお力を支えにこの任 き締まる思いで一杯でありま みずに任を全うしなければな 挙を頂き、浅学非才の身を顧 あらためて副庁長のご推

せていかなかればなりませ 誠を捧げると共に、今こそ草 精神を次の時代に継承発展さ 創の原点に想いを致し、その 節目の年を迎えます。戦後間 賢各位により設立され、 もない混沌とした時代に、先 立されてより七十年の大きな も神社関係者は改めて感謝の さて、本年は、神社庁が設 私ど

の心の拠所である神社の祭り 複雑に目まぐるしく変化し、 しつつあります。地域共同体 り巻く状況は益々厳しさを増 過疎化や少子高齢化、共同体 意識の低下により、神社を取 然しながら、現下の世情は、

> 神の道、つまり「神道のここ を思いやり助け合うという日 ねばならないと思います。民 本の伝統文化を護持していか を通して地域が結束し、 族精神の根幹思想としての惟 |「日本のこころ」を宣揚 互い

> > ります。

させていただきます。

し上げ副庁長就任のご挨拶と

ご鞭撻を賜り度お願い申

副庁長 佐々木 髙

す。この三年間は根津庁長の 者諸々心を一つにして、発展 として、会員一人一人又関係 ます。今後も根津庁長を中心 豊かな経験のもとその決断 をひしひしと感じておりま り浅学非才の身、 られるようになってきており 神社界の存在にも変化が感じ 務はもとより、社会における 力・実行力によって神社庁業 つかる事となりました。元よ した臨時協議員会に於きまし 去る二月十六日開催されま 副庁長の重責を再度仰せ 責務の重さ

仁

の為に力を尽していくつもり

持運営を図るのではなく、神 社からさまざまな情報を発信 る「待ちの姿勢」で神社の護 同じ方法で継続する、いわゆ 伝えられてきた事を今までと 少は神社の存続に直接影響す ません。少子高齢化、人口減 不可能であります。神社界と を神社界だけで解決する事は る問題であります。この問題 は厳しく、決して楽観はでき いたしましては、単に今まで 扨、神社界を取り巻く環境

運営に邁進していく覚悟であ 決して悲観することなく勇気 しつつ、平易にかみ砕いて解 き明かし、時代の要請に応え 中心に役員各位と共に神社庁 何卒皆様のご協力とご指 根津庁長を てよいのではないかと思いま な行事を生み出すことも考え 百年先に伝統となりうるよう しながら、これから五十年先、 ております。伝統文化を継承 会を提供することが求められ し、鎮守の杜に人々が集う機

と気概を以って、

ご挨拶といたします。 御支援をお願い致しまして であります。各位の御協力、

微力ながら勤めてまいる所存 根津庁長の二期目に向けて



神道政治連盟山梨県本部 本部長

渡

邊

平

郎

まいりました。中でも、神政 選挙二回、 り、外川前幹事長の後任とし 七県では、 立して頂きました。関東一都 連山梨県地方議員懇談会を設 に皆が一丸となって活動して が、佐々木本部長の指導の下 挙と選挙続きでありました 長選、昨年の統一地方議員選 行部一丸となって衆議院議員 めてまいりました。役員、 して、佐々木本部長の下で努 て三年八ヶ月余りを幹事長と ました。平成二十四年八月よ 梨県本部の本部長を拝命致し 員会に於いて神道政治連盟山 去る二月十六日の臨時代議 山梨市市長選、 東京、神奈川に次 参議院議員選挙一 都留市市 執

> されました。改めて佐々木本 部長の指導力、 求める請願」 早期実現を求める意見採択を いました「国会に憲法改正の 本部で山梨県議会に提出して 会議員のおかげで昨年末、当 いで三番目であります。懇談 がようやく採択 包容力に感謝

げ挨拶と致します。 力を賜ります様お願い申し上 します。皆様の御指導、 選に向けて一丸となり活動致 え、先ずは七月の参議院議員 任委員長に留任して頂けまし 副本部長、秋山議長、萱沼常 ませんが、 致します。 た。新たに乙黒新幹事長を迎 私は前本部長には遠く及び 幸い髙原、 小尾両

営に尽力してまいりたいと思



協議員会議長 小 山 利 行

います。

改選にあたり、去る二月十六 ますが、より良き協議員会運 まいりました。微力ではあり 営に触れており、重責を見て 立場で、前任の桃井議長の運 る事となりました。支部長の て、議長に指名を頂き就任す 日開催の臨時協議員会に於

増加、 問題を派生させ、年々その厳 コミ等によるパワースポット 展の中での都市部での世帯数 に人口減少問題と少子化の進 しさを増しつつあります。 様々に変化し続ける中に、 人気による参拝者急増問題 神社界を取りまく環境は 氏子の神社離れとマス 特

法や処方による解決策がむず かしくなってきつつありま 我々神社界の周辺の諸問題

を直視し、各地域毎の処方を

ます、 ます。第六十二回式年遷宮も それぞれが見出し、実施し 無事成し竟え次の遷宮に向け 解決に向けて行く必要があり て準備を心掛ける時でもあり

茶道の教えの中に「稽古と

教化委員長 中 村 宗 彦

ながら委員会の運営につとめ 化委員長に選任されました。 すが委員各位のご助力を賜り の期間の長さの故を以てのみ 青年会時代より委員の末席を 委員会に於いて、図らずも教 御推挙であろうと拝しま 去る三月十四日開催の教化 甚だ力不足では御座いま そ い今の世相に即した新しい教 産を生かしながら、変化激し って参りました。こうした財 新聞広告等継続した事業を行 上げ、これまで「緑陰子供会 が大変な苦労して事業を立ち てまいりたく存じます。 「親子参宮団」「神宮(遷宮) 「ネル展」を柱に教化講演会、 教化委員会では、先輩諸兄

汚してまいりましたので、

皆様の奉務の一助となるよう いと考えております。 活発な活動をすすめて行きた 化事業を模索し、県内神職の

よろしくお願い申し上げま うかわかりませんが、 また絶大なる御支援の程何卒 す。関係諸賢の御指導御鞭撻 微力を尽くす覚悟で御座いま のご期待にお応えできるかど 元より浅学非才の身、皆様 精一杯

景を意識し、さらに次世代に 迎える今、改めて先人の方々 と県神社庁が創立七十周年を う言葉があります。神社本庁 めに帰るもとのその一」とい は、一より始めて十を知り初 生活の綱領」の精神とその背 の歩みに思いを致し、「敬神

引き継ぐべく、議長職に努め る所存であります。

異なっており、全県同一の手

各地域毎に抱える問題が

申し上げ新議長就任の挨拶と 以降の様々なる神社庁の事業 へのご理解とご協力をお願 改めて創立七十周年とそれ たします。

神道青年会会長 遠 藤 倫 生



います。 の重責を心も身も引き締め誠 心誠意努めて参る所存でござ 若輩者ではございますが、こ 会会長の大役を仰せつかりま まして、藤原会長の後任とし れました当会臨時総会に於き した。素より浅学菲才の身、 て、第十七代山梨県神道青年 本年一月二十九日に開催さ

相互の連絡、切磋琢磨を図り 更なる活動展開をして参りた いと考えております。 と伝統を顧み、礎として今後 方の築かれた今日までの歴史 五年が経過し、その間諸先輩 さて、当会も創立より六十 「会員

> 参りたいと存じます。 なる発展のため、力を尽して かい、山梨県神道青年会の更 員各位の絶大なる協力を得 神社神道の興隆を期する」と て、斯界の発展の為一丸とな 目標を今一度思い起こし、会 いう本会創立時に掲げられた 現代社会の難局に立ち向

と存じますが、是非とも御指 し上げ、 く感ずるような事があろうか 今後青年会活動を展開する 皆様方におかれましては、 力量不足、見識不足等多 御鞭撻賜りたくお願い申 ご挨拶とさせて頂き

顧 顧

問 問

神社

由

進

十五所大神社

哲夫

귎

峡北支部

石原

貞夫

淺間

眞孝 欽哉 豊秋 倫生

事

神 社 庁 新 役 員

峡北支部

鉾立神社

中田

欽哉

峡北支部

駒ヶ嶽

神社

今

橋

武

北

都留支部

棚

平 成 二十八年四月一日 ~平成三十一年三月 一 \exists

副庁 庁長 長 小富士山. 神社 根津 小佐野正史 泰昇

理本庁評議員 事 副 支部長理事 庁長 淺間 武田 穴切大神社 神社 秋山 古屋 佐々木髙仁 忠也 甲 F 府支部

逸見神社 山縣神社 森越 塚川 義建

富士浅間 神社 春日神社 上文司 渡 邊 東八代支部 東八代支部 東八代支部

小室浅間神社 郎學厚 峡南支部

理 神政連本部長 利行 **映南支部**

中府支部 協 穴切大神社 秋山 員

甲府支部 古宮太神社 玉諸神社 高野 中込 日原 豊秋 英夫 盛幸 庁 庁 庁

表門神社

市川

那賀都 神社

日原

甲府支部

武田

神社

俊彦

御崎神社

上

條

晃

忠也

東山梨支部 東山梨支部 東山梨支部 木宮神社 堀内 邦満 庁長推薦

若宮神社 志村 重治

美和神社 戸蔵神社 堀内 桃井 文藏 祝

教

化

委

員

若宮八幡神社 十五所神社 表門神社 八幡神社 山本 笠井 深澤 市川 哲夫 純司 行治 東八代支部 東山梨支部 東山梨支部 甲 甲 -府支部 -府支部

天

神 社

公仁

会長 会長

南都留支部

佐々木三郎

表門神社

Щ

行治

甲斐奈神社

光啓 昭宏

峡中支部

野

田

武

船形神社

縣神社 塚川 雨宮 洋光 峡

 理総
 理神
 理教化

 代
 青
 公会

 事長
 事長

事

美和神社

祝

中村 桃井

宗彦

峡南支部

唐土神社

小田 松田 髙原 上條

切宣幸 武仁

事

甲

府支部

利雄

富士浅間・北口本宮・

神社

上文司

厚

甲斐奈神社

中川

理 理 副 副

駒井 千野

賢一

綱紀委員 綱紀委員 綱紀委員

酒

折

宮

五男

金事

中田 中込

玉諸 武田

笠屋 Щ 表門神社 \mathbb{H} 中 武 陽 峡 峡

於北支部

峡南支部 **岭中支部** 映中支部 **映南支部** 以中支部

理 理

事 事 事

> 東八代支部 東山梨支部

文藏

森越 東八代支部

峡北支部 康 **峡南支部 映南支部** 中支部 部 表門神社 比枝神社 八幡神社 今村 津金 小 野 八千代 政信

正降 修 理 理 理 理 事 事 事 事 峡

南都留支部 峡南支部 東八代支部 北支部 中支部 小林 中 石 令司 義朗 事務局長 監査委員 顧 顧 問 問

中尾: 福地八幡神社 酒 鉾立神社 Щ [縣神社 折 神社 宮 田 飯 中 田 Ш 々木幸永 田 欽 哉 樹

南都留支部 南都留支部 富士浅間 神社 小御嶽神社 小室浅間神社 渡邊平 佐々木三郎 小佐野 上文司 正史 郎 厚

小御嶽神社

正崇

元木

北都留支部

宗正

八幡神社 一宮神社

> 藤本 小佐野

文彦

議

長 長 事 事

堀内

北都留支部 北都留支部

鈴

木

晃

事

東八代支部 東八代支部 東山梨支部

三井

晴則 文藏

牛倉神社

中村

宗彦

峡

水

斌

神社

Z

黒

洋

顧 監 監 副 議 理 理

問 事

甲

-府支部 以北支部

宮川

睦武

庁長推薦 北都留支部 北都留支部 北都留支部 長推 愛宕神社 武田神社 春日神社 福地八幡神社 春日神社 棚本 小山 佐々木幸永 佐々木高仁 渡 邊 佳秀 學 庁長推薦 庁長推薦 庁長推薦 庁長推薦 庁長推薦

富士浅間神社

田邉

道

政治

稲積神社

本

倫生 佳明 將之 十五所 武田:

神社

敬逸

長推薦 長推薦 富士浅間神社 立 諏訪神社 石神社 髙原 渡邊 齋藤 左門 實

庁長推薦 総 武田: 神社 代 슾

副 副 会 会長 会長 長 東山梨支部 峡北支部 -府支部 中田 中込 豊秋 欽哉

邦満 常任委員長 副 議長 富士浅間: 北口本宫: 牛倉神社 神社 石原

孝之 英司

幹事 長 長 武田: 穴切大神社 神社 秋山 乙 黒 忠也 洋

議

綱紀委員長 逸見神社 森越 義建

部 長 稲積神社 立石神社 小室浅間神社 渡邊平 小 髙 尾 左門 郎 武

副本部長 副本部長

-5-

頒神 布宮 春天 季麻 推頒 進布 ₩ 会 議 報祭 告

支部長 北都留· 支部 渡

學

入り相見神宮頒布部長より平成 二十七年度の神宮大麻暦の交付 数と頒布数の報告があり、頒布 数と頒布数の報告があり、頒布 数と頒布数の報告があり、頒布 都市部で増体との説明があり湯 澤本庁本宗奉賛部長が「三か年 継続神宮大麻都市頒布向上計 画」の実施状況など説明した。 事業の活動事例の発表があり、 が、四国地区共同事業について 当県神社庁上里参事が活動と が、四国地区共同事業について が、四国地区共同事業について が、四国地区共同事業について が、四国地区共同事業について が、四国地区共同事業について が、四国地区共同事業について が、四国地区共同事業について が、四国地区共同事業について

計画研修会報神宮大麻都市頒布向 告上

東山部 [梨支部

支部長 H 幸

開運施設の見学と返戻大麻お焚 開運施設の見学と返戻大麻お焚 開運施設の見学と返戻大麻お焚 開運施設の見学と返戻大麻と 神宮社頭授与大麻との違い。又、 神宮社頭授与大麻との違い。又、

上減少への協力要請もあった。

「大減少への協力要請もあった。

「大減少への協力要請もあった。

「大減少への協力要請もあった。

「大減少への協力要請もあった。

「大減少への協力要請もあった。

「大減少への協力要請もあった。

二日目、高井和大貴船神社宮 司が本宗・神宮大麻・神社本庁 三本賛の意義。天岩戸神話を例 に神宮大麻と氏神神札を合せ祀 る利益について解説した。又、 領布向上には神職が鍵、頒布を 説明する事が大切と説いた。 では、著述の、 では、著述 では、有が とででフリーペーパー等の アル活用。神社スタンプラリー は効果絶大と伝えた。 とでででは、葛城 では、高井和大貴船神社宮 を設定し実績を挙げた旨の報 を受け、全ての日程を了えた。 はか果絶大と伝えた。 を設定し実績を挙げた旨の報 を受け、全ての日程を了えた。

lむ本県、有効な手立てを講じ少子化に過疎化・人口流出がlを受け、全ての日程を了えた。 ħ

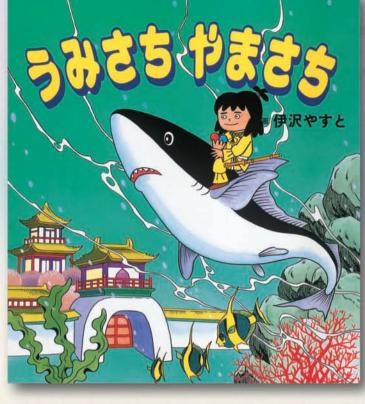
土暦	
布数	
520	
350	
445	
1,200	平
650	成成
1,245	二
7,850	+
1,780	八年
1,040	月月

平成二十七年度大麻並曆頒布実績表

	小 大 麻		中大麻		大 大 麻		大麻合計		郷土暦
支 部	頒布数	増 減	頒布数	増 減	頒布数	増 減	頒布数	増 減	頒布数
甲府支部	17,147	- 49	1,279	+ 69	192	+ 16	18,618	+ 36	520
東山梨支部	13,284	- 116	363	+ 12	165	+ 5	13,812	- 99	350
東八代支部	11,750	+ 360	530	- 200	100	0	12,380	+ 160	445
峡南支部	8,994	- 205	564	+ 8	240	- 2	9,798	- 199	1,200
峡中支部	16,058	+ 72	867	+ 9	49	- 7	16,974	+ 74	650
峡北支部	11,834	+ 3	468	+ 9	40	+ 1	12,342	+ 13	1,245
南都留支部	17,700	- 364	3,772	- 35	738	- 145	22,210	- 544	7,850
北都留支部	3,490	+ 80	4,845	+ 55	210	- 11	8,545	+ 124	1,780
神社庁扱	1,750	+ 450		0		0	1,750	+ 450	
合 計	102,007	+ 231	12,688	- 73	1,734	- 143	116,429	+ 15	14,040

うみさち やまさち (第四話

まんが古事記



お子さん、お孫さんと、 神話の世界をお楽しみ下さい。



問い合わせ 東京都渋谷区代々木一—全国神社保育団体連合会」提供 一八〇一 神社本庁内

一二〇円

単でえものを どうしてもうま とるようには、









お子さまです。 この度漫画化した「うみさち 瓊瓊杵命・木花咲耶比売の間に生まれた 海幸彦は火照命、 日向の国、現在の宮崎県に伝わるお話で 山幸彦は火遠理命とい やまさち

もしお腹の児が命の子供でないならば、焼け ので、それぞれ海幸彦、山幸彦と呼ばれるよ 命は釣りを、火遠理命は狩りをしていました の弱まる頃に火遠理命が生まれました。 ました。火の盛んに燃える中で火照命、 炎の中で、不思議にも比売は三人の児を生み 火はみるまに産屋をつつみ、その燃え上った 死ぬであろうといって産屋に火を放ちました。 つくり、その中で児を生むことにしました。 身の潔白を示すため、戸が一つもない産屋を かと、命は比売を疑いました。そこで比売は て、みごもられました。他の神の児ではない ました。ところが、木花咲耶比売は一夜にし 大山津見神の娘木花咲耶比売を妻として迎えますやまつみのかみ 高天原からこの国に天降られた瓊瓊杵命は

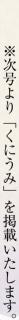
うになりました。

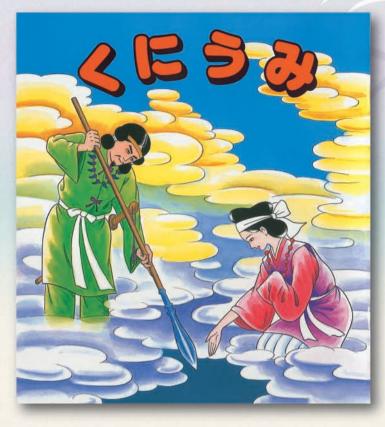
を培う基礎になるものといえます。 銘を覚えたものでした。こうして受けた感銘 のではなく、 神の躍動があり、また何かしれぬ不思議な感 幼い頃、 宗教、芸術等を味わうことのできる情操 大人になっても決っして忘れ去られるも 語り聞かされた神話。そこには神 むしろより豊かなイメージを育

基礎が確立されていくことになるでしょう。 て自然に感性が育まれ、 いうべき神話に、 お子様が触れることによ 正しい人格形成の



日本人の信仰、日本の文化・伝統の原点と







らすじ

あ

の実現に向けて一大国民運動を う努力する」こと、「憲法改正 に皇室敬慕の念が喚起されるよ ために一意専心して、広く国民言決議では「皇室の尊厳維持の

都七県神社庁連合会 総会報告

神社庁理事 屋 真

から総会が開催され、開会儀礼から総会が開催された。当日は、午後二時川催された。当日は、午後二時二月二十二日富士吉田市のホテニ月二十二日富士吉田市のホテニリニーのでは、一個の場合のでは、一個の場合のでは、 宮富士浅間神社への参拝がなさ神社参拝の報告として、北口本神社が松山文彦庁長から、地元に続き、次年度開催県の東京都 れた報告があった。宮富士浅間神社への参拝

神宮大宮司、神道政治連盟会長川道久神社本庁統理、鷹司尚武県の根津泰昇庁長の挨拶、北白 続いて当番県を代表して、 ただして、本 なして、本

事から「一都七県と東京都におけるIT活動について」と題した発表がそれぞついて」と題した発表がそれぞついて」と題した発表が、埼玉県神道青年会東れなされた。 表が、 東 合おう、日本の心」と題した発神社庁志村重治理事から「伝え こと」と題した発表が、 され、 理事から「今、 され総会は閉会した。 次に各県からの意見発表がな 東京都神社庁清水祥彦理 群馬県神社庁金子由紀子 神職として思う 山梨県

酒が座を盛り上げた。 席を移し、山梨県の名産品葡萄 その後、 全体での懇親の場に

(代理吉田茂穗副会長)、

山谷え



り子参議院議員、有村治子参議の審議が行われた。続いての宣院議員のもと、今年五月の神社本院議員のに議事に移り根津庁長ので議事に移り根津庁長ので議事に移り根津庁長ので議員のご来賓が祝辞を述べらい。

都七県神政連本部長 幹事長事務局長会議報告

神政連山梨県本部 左

門

かけられた後、聖寿の万歳がな長から次回総会への参加が呼び 巨開催県の東京都神社庁松山庁 回開催県の東京都神社庁松山庁 はその運動に取り組む」ことが

催された。 ドームホテルに於いて、 って、東京都本部が当番にて開 八十八名、来賓八名の出席を以

本年の特長として四分科会

本部長、 事務局長

幹事長

青年隊長

を設け次の通り話し合った。 青年会員

都七県神道政治連盟本部長

【参議院選挙についての取組み】 幹事長・事務局長会議 分科会内容

かい対策 十八歳未満の有権者への対策 衆参同時選挙の可能性に対 分析結果による地区ごとの 所ごとに数字が出ている) 前回の得票数の分析 ての事前準備の必要性 (各投票 細

この会議は、 三月十二 良 関係者

神職によって温度差が激 隊 員 の神政 連 に対する

若手神職は禰宜、 社庁から各宮司さんへの配慮 ことも多いので、 があると出やす 可が得られないと出られない ることが多く、 宮司さんの許 神政連や神 権禰宜であ

・必ずしも全員が神職の政治活 動に賛成というわけではない

【その他】

りは、 神政連とし きかという側 て、 っかりと意見を述べることが 国つくりのためにどうすべ 政治面での施策というよ 文化伝統の護持や美し ての在り方とし 面にたって、

【管内神社の神職 や役員総代 0

神政連に対する理解度】 全体的にはある程度の理解度 を得られている

専業神職はある程度の 理解をしても中々活動は難し 得られているが、 兼業神職は 理 解 を

青年

L

神道 政 連 盟 第 几 口 時 几 拉 口 海 外 会 修 議

神政連山梨県本部 青年隊員 佐々木 宗

表る二月四日より同月七日の 出りました。 大師社関係者と共に私も参加した。今回の訪問国はフィリピン共和国であり、全国津々浦々と共和国であり、全国津々浦々より集まった約五十名の神職及が神社関係者と共に私も参加してまいりました。

本研修は大きく分けて二つの主題の下に日程が組まれ、各々その主題に沿った。その内の一つが大東である。カリラヤ日本人戦没者を慰霊する英雄墓地(無名戦者を慰霊する英雄墓地(無名戦治の第一の大き、一大の教皇の第一連が発出したで、そしてマバラカット西飛行場跡地で慰った。とから、同じ場に己が来のれたことから、同じ場に己が来のいた。とから、同じ場に己が来のいた。とから、同じ場に己が来のいた。とから、同じ場に己が来のいた。とから、同じ場に己が来のいた。とから、同じ場に己が来のいた。とから、同じ場に己が来るが、そしてマバラカットにおけて、

る慰霊祭の斎行と併せて、かの る慰霊祭の斎行と併せて、かの 野に心を尽くした。もう一つの り方について学ぶというもので り方について学ぶというもので を比日本国大使館への表敬訪問 を比日本国大使館への表敬訪問 の際の石川和秀大使によるフィ リピン共和国概況説明、また デ・ラサール大学のレナート・ デ・ラサール大学のレナート・ で迎え南沙諸島問題とフィリピンの国防に関する講演が行われ た。概況説明に於いてはフィリピンの国防に関する講演が行われ

関連してま、 したが、このは 関連と にせて、かの ピンと我が国 にせて、かの ピンと我が国 を国防の在 のとなった。 を国防の在 のとなった。 したが、このは 関連各国の対 が国 にせて、かの ピンと我が国 は南沙諸。

政治情勢、そして宗教事情と広くかの国の説明を頂くことが出くかの国の説明を頂くことが出来、またデカストロ氏による講演では南沙諸島問題の歴史から関連各国の対応、そしてフィリ関連各国の対応、そしてフィリ盟への理解と関心が益々強いものとなった。

したが、この先も忘れえぬ貴重今回初めての海外研修参加で

な経験となりました。先の国難な経験となりました。先の国難、そして今抱える我が国の危機、そして今抱える我が国の危機、そのどちらも我々が取り組むべきのどちらも我々が取り組むべきのどちらも我々が取り組むべきのどちらも我々が取り組むべきのどちらも我々が取り組むべきのがあるのだと再度強く感じた金での皆様にこの場を借りした全ての皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

ソラマチ散策旅行報告靖國神社参拝・

去る平成二十八年三月三十一 出、神道政治連盟山梨県本部主 と、一七〇名が参加しました。 今回は県内八支部よりバス四 会に、一七〇名が参加しました。 当日は、暖かな陽気で、靖國神社の境内の桜が満開の中での が表別で、第國神社の境内の桜が満開の中での

子氏代理秘書唐川達也氏の御出所、国会議員の山谷えり子氏、司、国会議員の山谷えり子氏、司、国会議員の山谷えり子氏、司、国会議員の山谷えり子氏、司、国会議員の山谷えりの

路につきました。
ないできました。
を拝を行う事ができました。
を拝後は昼食をすませ、東京を手後は昼食をすませ、東京ができました。



教 化 研 修 旅

宮司 中

村

宗

彦

二日

研修旅行が開催された。 県・屋久島方面への教化委員会 十三名の参加を得て鹿児島 .、古屋委員長以下神職、一般去る三月八日より十日の三日

港より鹿児島空港へ、到着後ま 参拝させて戴いた。 よく整備されており、 場所へ移されたという。 よりたびたび火災にあい、 古社ははじめ天孫降臨の地、 が六世紀という九州でも屈指の ずは霧島神宮に正式参拝。 千穂峰山頂にあったが、噴火に 早朝県内各地を出発、 清々しく 境内は 羽田空 創建 今の 高

で屋久島に渡り、 その後、鹿児島港より高速船 屋久杉自然館

> 齢三千年以上という屋久杉に圧濡れになりながら約一時間、樹の原生林の中の遊歩道をビショ を実感した。屋久島環境文化村 倒され、改めて大自然の偉大さ クスギランドではほぼ手付かず 千メートルを越える高嶺に。 を車窓から見ながら一気に標高 筋も瀑布の如く流れ落ちる水流 センター見学後、指宿へと渡っ れもない花崗岩の岩肌を幾

目は雨である。



う。



ŋ

今年の神宮初参りは、 驚きの 建部神社 氏子

内

藤

富 美

恵

盛りだくさん行程でした。

れて快い緊張感の中で拝礼する式参拝。神宮の厳かな風に包ま 雪不足の苦心が見える力作の ことに、ほっとしました。 会場からスタート。 北海道での一日は、 心新たに一年を踏み出せた 伊勢神宮外宮内宮の正 例年にない 雪祭りの

境の中での開拓の苦労や、 数 神社の役割の大きさなどを、 人々の心の拠り所となってきた 拝後のお話では、厳しい自然環 わってきて、感動しました。 の所では、道民の熱い思いが伝 丁重に迎えていただき、 ぶことができました。 **々、** 北海道神宮と樽前山神社では 中でも「北海道新幹線」 正式参 常に

> 頂いた。 盛り沢山でいろいろ勉強させて 武建国以前の国を思い、屋久島今回の研修旅行は、霧島に神 きた。 護国神社 に回顧し、 記録等を拝見し、 華された英霊の遺品や資料を展 英霊を拝して慰霊参拝と、 らむという自然に接し、 に日本の原初の森林は斯くある った。当時の隊員達の真の姿や 示する知覧特攻平和会館へ向か 特別攻撃隊として沖縄戦に散 良い旅行であったと思 にも参拝することがで また隣地に祀られた 御遺徳を静か 知覧に

らも、 引率してくださった神社庁関係 も見学でき、 しく充実した旅を企画し安全に のだと、つくづく思います。 での日航機緊急脱出のニュー さを楽しむ逞しさに感嘆しなが それから半月後の新千歳空港 幸運にも、 私たちの旅は守られてい 震え上がっていました。 山梨との桁違いの寒さに ありがとうございまし 氷像の美しさや寒 支笏湖氷濤まつり 楽 た

山梨県神道青年会 創立六十五周年記念大会

神道青年会創立六十五周年 記念大会報告

山梨県神道青年会 永 起

立六十五周年記念大会に、神社致しました山梨県神道青年会創甲府市常磐ホテルに於いて開催甲成二十八年三月二十二日、 とができました。また、この周 先輩諸賢、多くのご来賓のご臨庁根津庁長様を始め関係各位、 きました当会役員並びに会員の 年事業にご協賛ご高配賜りまし まして無事盛会裡に挙行致すこ 年事業を総集したPVの放映、 皆様方に改めて御礼申し上げます。 謝申し上げます。お陰様を以ち 席を賜りましたこと衷心より感 た関係各位、ここまでご協力頂 記念式典では、これまでの周

祝賀会では吉木誉絵先生の流麗 ない歌唱・地 が、歌唱・披 り組み、役 り組み、役 り組み、役 り組み、役

講演も皆様より大変ご好評を頂来ました。また、西村晃先生のかりと果たし乗り切ることが出が、会員一人一人が役目をしっなトラブルにも見舞われました きましたこと、有難く思っており

年九月十八・十九日の伏見桃山年九月十八・十九日の伏見桃山御陵勤労奉仕に始まり、沖縄甲御陵勤労奉仕に始まり、沖縄甲海難者追悼式、県下護国神社巡野、北方領土早期返還祈願祭等今日まで幾多の事業を展開して参りました。事業を成していくをつれ、先人達のこれまでの歩るを垣間見た気が致しました。みを垣間見た気が致しました。 ができ、また、同時に神職とした輩の意思や気概を感じることだ当時のは事業を継承することで当時のはのことである。」とある先輩がお 「継承、継続していくことが青 振り返りますと、平成二十六

に体力を要しますが、私達青年ました。事を起こすことは非常て祈ることの大切さも教えられ 諸賢の教えを感じ取れる最良の す。斯界の先兵として行動する 会員はその実践力を備えていま ことは若さ故だけでなく 私にとりましても、これが任

> 咤激励は私を大きく成長させてがございます。また、時折の叱来ました。非常に感慨深いもの来ました。非常に感慨深いものこの三年間多くの方々に支えら りも精進し斯界のために微力で くれました。これを糧にこれよ と思っております。そして、 はございますが励んで参りたい

> > 申し上げます。

の大役を果たせたことに感謝

ございました。

とさせて頂きます。ありがとう記念大会報告並びに退任の挨拶

指導ご鞭撻をお願い申し上げ、年会にこれまで同様変わらぬご

る感謝と新たな歩みを始める青結びに、今期の諸活動に対す

中尾神社 禰宜

代会長、上條節子、土肥東宮会代会長、上條節子、土肥東宮会の鶴岡八幡宮にて三月十日に開われる。今年は神奈川県鎌倉市われる。今年は神奈川県鎌倉市神職協議会関東地区研修会が行神職協議会関東地区研修会が行 員と私の四名で参加した。

り 豊 正式参拝。 一時から 十前十 そし 祈なる て頂いた。 願させ 研 て実 修とな

> 生き方、また現在忘れられたた講演を拝聴した。明治女性のを迎え「女子の武士道」と題し今回は作家である石川真理子氏 を神話の世界へと魅了した。最に、迫真の演技は、しばし私達の神話を上演。雅楽の演奏と共 「ヤマトタケルノミコト」日本神社庁神話語り部チームによる 銘を受けた。続いて、神奈川県大変興味深い内容であり終始感 閉会となる。 の花など旬の食材が彩りを添 「婦道」 について、 華やかなお弁当に舌鼓をう 午後からの研 都五県の活動報告を行い 女性として 修に臨んだ。

て大変意義深く、今回の研修は、 日々精進を重ね、神明奉仕に一なり大変感謝している。今後も、 分のエネルギーを高めた機会と 、心身共に、自、私にとりまし

全国女子神職協議会関東地区 女子神職研修会

Ш か おる



期

に立たせていただき、皆さんと一緒今ここにいます。そして今日この場

神社界の皆様から賜った大切な学び

参議院議員・前国務大臣 山



かけてきました。 を見上げながら出 日の丸はためく空 今朝は、まず玄関 に国旗を掲げて、

想い起こしていました。 想い起こしていました。 想い起こしていました。 想い起こしていました。 想い起こしていました。 礎を築いた祖先たちがいたおかげで、 日本の建国から二六七六年、国の

戦後の占領時代に憲法、皇室典範 改正させられました。安倍首相は第 一次内閣のときにまず教育を取り戻 したいとの思いから、教育基本法の 改正に着手しました。私はその時に 改正に着手しました。私はその時に 改正に着手しました。私はその時に を対ました。それらをはぐく たが、改正の中で教育の目標を五つ 定めました。それらをはぐく んできた我が国と郷土を愛するとと んできた我が国と郷土を愛するとと もに、他国を尊重し、それらをはぐく んできれました。この理念は英語 か明記されました。この理念は英語 が明記されました。この理念は英語 が明記されました。この理念は英語 が明記されました。この理念は英語 からとと たが、とと たできた我が国と郷土を愛するとと もに、日本の国柄、文化と たがとと に建国記念の日をお祝いしながら少 しお話ししたいと思います。

ンカーンは、「国民は記憶の糸でつながっている」と言いましたが、私たり戻すことによって、脈々とつながり戻すことによって、脈々とつながる命を取り戻せるようにしたいと思います。 さん教えられるようにしました。 々の暮らしを伝える歌をたく IJ

本人は多いし、またそれを教えられて日本は世界最長の二六七六年のして日本は世界最長の二六七六年ので千百年、イギリスで千年があります。長いと言われるデルと言われるデルと言われるデルと言われるデルと言います。そ 編纂から千三百年の年にあたります。その中で初代神武天皇は、主に三つその中で初代神武天皇は、主に三つの建国の理念を掲げておられます。要約すると「国民一人一人は"おおみますると「国民一人一人は"おおみでがら、として大切にすること」です。 てこなかったのは残念に感じます。 さて、 四年後には『日本書紀』

書、イスラム教の国でコーランを読し、アメリカの民主主義と言えば愛」、アメリカの民主主義と言えば愛」、アメリカの民主主義と言えばった。日本の建国の精神や長い歴史はも、日本の建国の精神や長い歴史はいる。またキリスト教の国で聖知らない。またキリスト教の国でコーランを読書が、イスラム教の国でコーランを読書が、イスラム教の国でコーランを読書が、

や文化を育んできた歴史があり、遷宮に表される、常に若々しくあるという「常若」の精神性は、正直、誠実、勤勉、本人の精神性は、正直、誠実、勤勉、チャレンジ精神、親孝行などと言われますが、日本人が「日本ってすごい国時に、日本人が「日本ってすごい国時に、日本人が「日本ってすごい国なんだ」ということを今一度見つめるた。ということを今の誇りを感じ直す機会となることをの誇りを感じ直す機会となることをの誇りを感じ直す機会となることを や文化を育んできた歴史があり、遷れます。伊勢には日本の美しい伝統五月には伊勢志摩サミットが行わ 昨年行われた武道館での憲法改正

昨年の十月まで国家公安委員長や監察、国民一人一人のために祈られき様、国民一人一人のために祈られき、宮中祭祀で国家の安泰や五穀お姿、宮中祭祀で国家の安泰や五穀は、下皇国務大臣を務めていましたが、天皇国務大臣を務めていましたが、天皇 感を持った姿勢を見てきました。今も警察官や消防士の皆さんたちは、も警察官や消防士の皆さんたちは、も警察官や消防士の皆さんたちは、もの命を顧みず救助に向かう使命をでいた。

これこそが日本人らしさ、日本が 一本人ってすばらしいと感じました。 本人ってすばらしいと感じました。 百万人の先祖がいて、あなたを守ってくれているんだよ」とよく言われてくれているんだよ」とよく言われました。 その体の中にはDNAというのでしょうか、歴史や文化伝統、先人たちっかりや思いが込められているのでの祈りや思いが込められているのでのがりや思いが込められているのでのがりや思いが込められているのです。 みんな悔しさをこらえ切れない顔を日は救助活動ができないと決まると、 していました。 基礎単位として、しっかりと謳うべが、日本の美しい国柄について触れられていません。また家族は社会のられていません。また家族は社会のられていません。また憲法の前文は、その国の精神また憲法の前文は、その国の精神

まで、 大切なのか、国民が議論本のために大切なのか、国民が議論を深めていく大切なのか、国民が議論を深めていく大切なのか、国民が議論を深めていく大切なのか、国民が議論を深めていく大切なのか、いると命が救えたんじゃないか。もっと命が救えたんじゃないか。もっと命が救えたんじゃないか。もっと命が救えたんじゃないか。もっとのか。いろいろなことが今の憲法のか。いろいろなことが今の憲法のか。いろいろなことが今の憲法のでは、 で対応しにくくなってきています。 九条についても議論する必要がありもちろん日本の防衛のために、憲法 万人大会は、立ち見が出るような

夏の参議院選挙では私は改選期ですが、私は主張を変えることはあらいろな争点をつくってくるのでしたが、私は主張を変えることはあらいろな争点をつくってくるのでしょうが、私は主張を変えることはあいるなりによりが、私は主張を変えるため、ません。日本の国を守るため、憲法 くるためにがんばっていきたいと思なるためにがんばっていきたいと思います。そんな景色をつかればれいする、そんな景色をつまいます。と霊努力していきたいと思います。 きでもあります。 しい憲法をつくっていくために全身

式典の中で講演された内容を編集したもの ※本原稿は今年の建国記念の日奉祝中央

います。本日はまことにおめでとう

-15-

神殿例祭並びに初会報告

厳粛裡に行われた。 職・総代多数のご参列のもと、 り斎行された。祭典には県内神 員、神道雅楽会会員の奉仕によ 長を始め、 に於いて、 成二十八年神殿例祭が、 神社庁理事、 斎主佐々木髙仁副庁 山梨県神社庁神殿 青年会

動報告が行われた。 神社庁の七つの外郭団体より活 北支部が司会を務め、 その後行われた新年初会では 山梨県

神殿祈年祭並びに教化講演会報告

於いて、 としての価値についてご講演戴 府城について」と題して、 授の皆川巖先生を迎えて、「甲 議会議員・健康科学大学客員教 六名の奉仕により斎行された。 の祭員四名と、神道雅楽会会員 日原盛幸宮司を始め東山梨支部 一月十日、 あまり知られていない文化財 の歴史や魅力、また、 教化講演会では講師に山梨県 平成二十八年神殿祈年祭が 斎主大嶽山那賀都神社 山梨県神社庁神殿に 般に 甲府

今後の予定

は神社本庁監修のもと、より多くの 毎年テーマを変えて行われる神社検定 識を学んでいただく検定です。 方々に神道や神社についての正し もっと知りたい方のための検定です。 ○第四回神社検定(神道文化検定) 神社検定は神社が好きな方、日本を い知知

4

一、 日

平成二十八年六月二十六日 参級 【弐級】 【壱級】 午後一 時~午後二時二十分

、受験資格 山梨県神社庁

は併願可能です。 制限はございません。参級と弐級

壱級は弐級合格者のみ受験可能です。

七〇問以上の正解 参級・弐級・壱級とも一〇〇問

一、申込期間 平成二十八年五月十八日

水

7 7 7 . 3 7

、受験料 【参級】 四、 九〇〇円

【壱級】六、九〇〇円

い合わせ先 参級・弐級併願割引九、 七〇〇円

お問

神社検定事務局 〇三—三二三三—四八〇八

7

18

祭 典 NA REE

4 4 2524

5 5 4 · · · · 3 2 30

5 5 | 東岡神社つつじ祭 北杜市長坂町建市西大石神社例大祭 山梨市石森山市西大石神社例大祭 山梨市石森山季大祭) | 東京祭・湯立祭 忍草淺間神社例祭 (春祭・湯立祭 忍草淺間神社例祭 (春祭・湯立祭 | ス草淺間神社例祭 (春祭・湯立祭 | ス草淺間神社例祭 (春

忍草淺間神社重要文化財指定記念祭 甲府市中央甲斐奈神社大祓祭 市下中央神野社長が一部神社東大 で切大神社東大 で切大神社東大 で切大神社東大 で切大神社神大 で切大神社神大 で切大神社神大 で切大神社神大 で切大神社神大 でが大神社神社を を祭 本にない。 一年府市中央神明社境内社例祭 でいる。 でい。 でいる。 でい

7 . 9 中府市住吉神社夏季例祭·田植祭 市川三郷町域山神社例祭 大月市七保町下和田春日神社例祭 大月市七保町下和田春日神社例祭 大月市七保町下和田春日神社例祭 大月市七保町下和田春日神社例祭 大月市後野神嶽神社例大祭

7 7

程

お潟花祭 河口浅間神社例大祭(孫(はな祭り) 山中湖村平野天神社)勝山富士御室浅間神社春季例大祭北市須玉町比志神社例祭

社梅折枝神事 稲積神社お田植祭、甲斐一宮淺間神 下部熊野大神社春季例大祭 甲斐市富竹新田神明神社例祭

多くの人の喜び た祭りに参加し、

事が最も大切で りを繋いできた 悠久の昔から祭 と絆を見ると、 ある事を改めて 日であ

御神木は昨年の十一月に山

表

紙 写

説 明

番組で地区内の人々が自ら作り上げ 社にて奉告祭後、還幸祭を行い祭典 柱社に合流し、万燈、お囃子等が華 社、夫々が地区内を曳行し、夕方御 婦人部の踊り、お囃子と全長百十メ 供の金棒、拍子木、浦安の舞と山車、 賽銭舟、御神木、御神輿、万燈、子 見え安堵した。祭典の行列は露祓い、 申歳御柱祭は大雨であったが今年は 同様寅、申歳に斎行される。前回 地区内を曳行した。信州諏訪大社と 下両区の諏訪神社から各一柱が夫々 飯野字福王子の樅の木であり、 勇壮な神事である。今年の御神木は レビ山梨の(ウッティタウン六丁目) は終わる。四月十二日放映されたテ やかに共演し、建御柱を行い、 ートル、五○○人位の行列が上、下 一日を通し雨は降らず時々晴れ間も ートル重さ一・八トンの巨木を曳く 真であり、木遣り唄に合わせ根本の 今年の四月三日の里曳きの上社の写 し神事を斎行し十二月の納始祭後、 太さ二メートルを超え長さ九・八メ 御柱 上 の